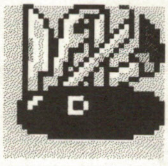


The New Concept Graphic Tool

Daisy コラージュ™

Version 1. 0

for Windows95／WindowsNT 3.51

User's Manual

デイジーコラージュ ユーザーズマニュアル

4006829
M02-00

目次

1 必ずお読みください

本ソフトウェアを使用する際のご注意

この度は、弊社製ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本文は、製品のお取り扱いに対し、重要な事項について説明しています。ソフトウェアをご使用になる前に本文の内容を最後までお読みになり、よく御理解いただきますようお願い致します。

本製品に含まれるマニュアル等の印刷物、CD－ROMに含まれるプログラム、データのことを本ドキュメントでは、本ソフトウェアと呼ぶことにします。

御注意

貴方は、意図する結果を達成するために本ソフトウェアを選択したことに対する責任と、組み込み、使用、および本ソフトウェアから選られる結果に対する責任を負うことになります。

本ソフトウェアを組み込み、使用したことによる結果に対して、本ソフトウェアの著作者である株式会社市川ソフトラボラトリー、米 Eastman Kodak社は一切の責任を負いかねます。

※マニュアル中の画面写真は、開発中のものです。

著作権

本製品に含まれるマニュアルや印刷物等の著作権は、株式会社市川ソフトラボラトリーが所有するものです。

CD－ROMに含まれる PCDLIB32. DLLは、米 Eastman Kodak社が所有するものです。

CD－ROMに含まれるプログラムにはMicrosoft株式会社の再頒布可能モジュールが含まれています。

CD－ROMに含まれる 上記2つを除くすべてのプログラムは、株式会社市川ソフトラボラトリーが所有するものです。

CD－ROMに含まれる画像やデータは、株式会社市川ソフトラボラトリーが所有する

ものです。

本ソフトウェアは、それぞれ上記で述べたように各社の著作物であり、あなたは本ドキュメントの「使用権の範囲」に基づき使用することができます。それ以外の利用は、著作権法により禁じられていますので、御注意ください。
なお、本マニュアルに記載されている製品名、会社名は一般に各社の商標または登録商標です。

2 使用権の範囲

使用場所

本ソフトウェアは、日本国内でのみご利用いただけます。
本ソフトウェアを国外に持ち出したり、国外で使用することはできません。

インストール

本ソフトウェアは、1台のコンピュータにインストールして使用することを許諾します。
複数台のコンピュータで利用する場合には、台数分のソフトウェアパッケージを購入してください。なお、学校等で複数導入される場合には、割引がご利用になれます。弊社までお問い合わせください。

複製

本ソフトウェアの一部または全部を複製することはできません。

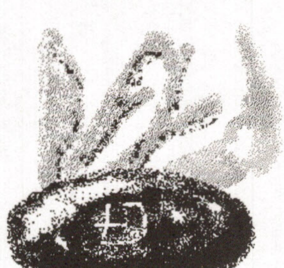
リバースエンジニアリング禁止

本ソフトウェアを逆コンパイルしたり、逆アセンブルしたり、プログラムを解析することはできません。

3 はじめに

このたびは、Daisyコラージュをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。Daisyコラージュは、まったく新しいコンセプトを元に設計されたグラフィックスツールです。 昨今のグラフィックスツールは機能を強化することで進化してきましたが、その結果、処理が不透明になったり、操作の煩雑化、ユーザに必要以上の知識や選択を要求する様になってしまいました。ソフトウェアは人が使う道具なのですから、「使いやすい」ことが条件です。処理や機能を簡素化することで、全操作の見通しをよくする方法、いちいち機能にガイドをつけてユーザに教える方法、目的や機能を特定・強要することで一見使いやすいような方法。これらはすべて機能強化に特化しすぎたツールを、見かけ上使いやすくしようとした結果なのです。しかし、本当にこれらの方法で「使いやすい」と言えるのでしょうか。そもそも、ユーザに画像のファイル形式やロード・セーブといった、絵を描いたり写真をレタッチするのに必要のない操作まで強要している現在のグラフィックスツールを根底から否定しなければ、真の「使いやすい」道具を実現できないと私たちは考えました。そして、絵を描くとはなにか、写真のレタッチとはなにか…と、使う人の発想を元に、ゼロから設計しました。ファイルや画像の種類、入力手段をユーザに意識させない「アルバム」、各セクションに分けられた機能、必要最低限の知識で簡単にかつダイナミックな効果が得られるフィルタなど、常に「道具」として利用することを前提に設計しました。

この、「使いやすいとは何か…」という問いに対して、一つの回答になるべく、Daisyコラージュは生まれました。ぜひ、Daisyコラージュの、まったく新しい概念をもった「道具」に触れてください。きっと、道具本来の意味を感じられるはずです。



4 動作環境について

Daisyコラージュは、内部フルカラー(1677万色)ですべての処理を行い、リアルタイムに誤差拡散法で表示を行うことで、ハードウェアの表示制限などに抑制されない環境を実現していますが、動作のために、いくつかのハードウェアの条件があります。

① Windows95がインストールされていること

Daisyコラージュは、Windows95/Windows NT3.51で動作する32ビット・ネイティブアプリケーションです。Windows3.1では動作しません。

お使いのパソコンにWindows95がインストールされていない場合は、パソコンを購入した販売店に相談するとよいでしょう。Windows95が動作しない機種もありますので、まずは店員さんに相談して、Windows95が使える環境を整えましょう。

② 256色以上表示できること

画面表示色がVGA(16色)の場合や、H98シリーズ等、Windowsで16色しかサポートされていない機種では動作致しませんので御注意ください。

③ メモリを16MB以上実装していること

Daisyコラージュは内部1677万色のバッファで処理を行います。このため、メモリ領域を多く消費しますので、最低16MBのメモリが実装されている必要があります。もちろん、8MBでも Windowsの仮想メモリ機能によって動作だけはしますが、実用に耐えうる速度を達成するためには、空きメモリが24MB程度必要になります。なお、Windows NTでは、さらに8MB余裕をみなくてはいけません。

④ CD－ROMドライブを装備していること

Daisyコラージュをインストールするのに必要です。もし、お持ちでない場合は、やはりお店に行って、CD－ROMドライブを購入しましょう。

⑤ その他

この他、スキャナやデジタルカメラを利用する場合には、それぞれの機器専用のTWAIN32ドライバがインストールされていることが条件になります。
また、Daisyコラージュは、複雑で膨大な量の処理をこっそりこなします。ですから、快適な速度を得るために、Pentium™プロセッサ搭載のパソコンでの利用を勧めします。

5　準備しましょう

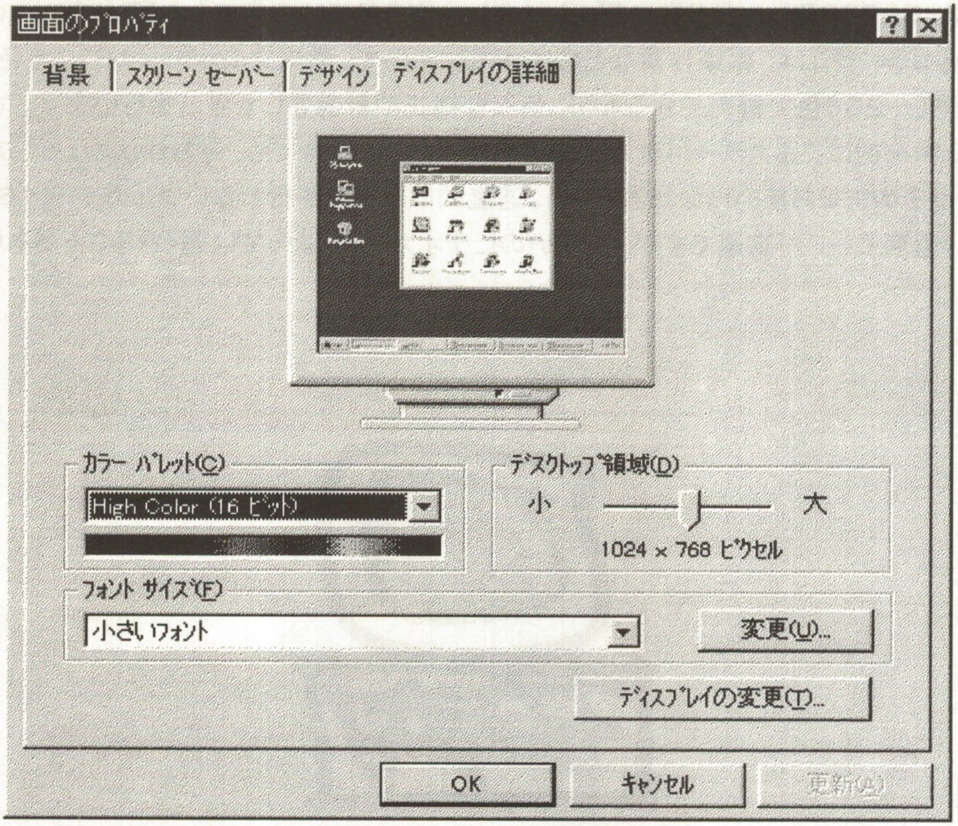


画面の表示色数

Daisyコラージュは、内部1677万色（フルカラー）で処理をしていますので、お使いのコンピュータが256色表示の場合でも、フルカラーで編集できます。しかし、お使いのコンピュータが256色以下では、その能力が発揮できません。もし、コンピュータが256色よりも上の能力を持っているのであれば、「画面のプロパティ」で「High Color(16ﾋﾞｯﾄ)」もしくは「True Color(32ﾋﾞｯﾄ・24ﾋﾞｯﾄ)」に設定することをお勧めいたします。

「画面のプロパティ」の出し方と表示色数の設定のしかた

「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選択し、開いてください。コントロールパネルの中に「画面」アイコンがありますので、ダブルクリックすると、次の画面が表示されます。

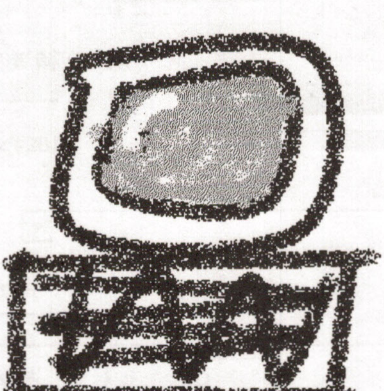


画面のプロパティ

画面のプロパティがでたら、「ディスプレイの詳細」タグを選びます。「カラーパレット(C)」という項目に、現在表示できる最大色数が表示されています。この右側の「▼」をクリックして、表示できる色数一覧をだしましょう。現在設定されている色数が選択されているほかに「High Color(16ﾋﾞｯﾄ)」や「True Color(24ﾋﾞｯﾄ)」または「True Color(32ﾋﾞｯﾄ)」がありませんか？ありましたら、なるべく色数の多い設定を選んでください。なお、表示色数を増やすと「デスクトップ領域」は狭くなってしまいます。画像を編集するには大きな画面の方が有利ですから、「カラーパレット」の設定と「デスクトップ領域」が両立する様な設定を選択するとよいでしょう。つまり、[True Color]よりは「High Color」に抑えて、640×480よりも1024×768ﾋﾟｸｾﾙにしたほうが表示される画面が広くなり、作業しやすくなります。(液晶ディスプレイの場合は、デスクトップ領域が固定の場合もあります)

双方をうまく両立させる設定がみつかったら、「更新」または、「OK」を押してください。色数を変更した場合は、コンピュータの再起動後に設定が有効になります。

どうしても256色しかだせないというコンピュータをお使いの方でも心配はご無用です。Daisyコラージュは、編集作業などのすべてにおいて、常にフルカラー(1677万色)で処理をし、256色で再現できるように色々な補正や計算をして表示を行います。ですから、将来的にフルカラーが表示出来る環境になった場合でも、今お作りになったアルバムはそのままお使いになれます。尚、速度的には補正を行わないフルカラー(1677万色)画面モードが高速ですが、お使いのビデオカードによっては遅くなることがあります。



インストールしましょう

Daisyコラージュは CD－ROMに入っています。このプログラムをご利用いただくには、インストール作業が必要になります。インストール作業では、お使いのコンピュータにプログラムやデータファイルを転送し、利用可能にするために必要なさまざまな処理を行います。

まずは、コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動してください。

※尚、すでにプログラムがインストールされている場合は、インストール作業を中断してください。既存にある全てのファイルを上書きするため、アルバム等のファイルが初期化されてしまいます。

Windows95でのインストール開始

1. Windows95が起動したら、CD－ROMを挿入してください。
2. デスクトップにある「マイコンピュータ」の中の、CD－ROMドライブのアイコンをダブルクリックして開いて下さい。
3. CD－ROMのルートにある「Daisy」フォルダを開き、「setup. exe」をダブルクリックして起動すると、Daisyコラージュのインストールを開始します。
4. 後は、画面の指示に従って下さい。

WindowsNT3. 51でのインストール開始

1. WindowsNT3. 51が起動したら、ログインし、CD－ROMを挿入してください。
2. プログラムマネージャの「メイン」グループの中にある「ファイルマネージャ」で、CD－ROMドライブを開いてください。
3. CD－ROMのルートにある「Daisy」ディレクトリを開き、「setup. exe」をダブルクリックして起動すると、Daisyコラージュのインストールを開始します。
4. 後は、画面の指示に従ってください。

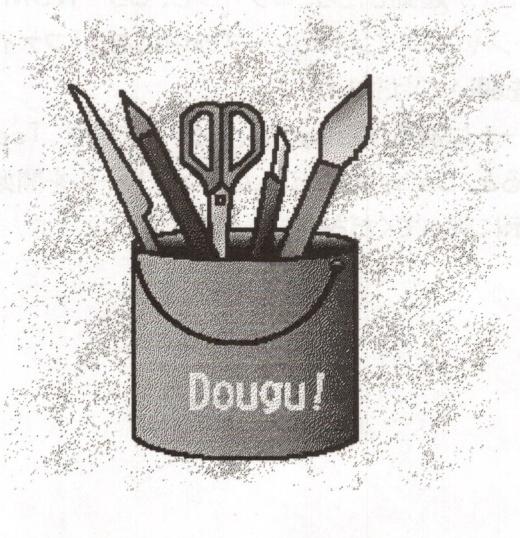
6　Daisyコラージュの7つ道具



Daisyコラージュは、あなたの絵を完成させるために7つの道具を用意しています。画像の取り込み・編集から印刷までの7つのセクションは、各々の機能や役割を明確に分類し、操作方法などを整理してガイドラインを表示する様になっています。 ちょうど、模型を組み立てるのに、ニッパやカッターナイフ（切る道具）と、接着剤（付ける道具）、色を塗る筆や絵の具（塗る道具）、説明書（ガイドライン）と分かれているのと同じく、各々の道具（セクション）は、すべて模型（画像）を完成させるために存在します。

画像をスキャナやデジタルカメラから取り込んだり、ファイリングしておく「アルバム」セクション。下絵にすきな画像を簡単に合成できる「合成」セクション。色を塗ったり、線を引いてオリジナリティをつけられる「描画」セクション。画像を回転させたり必要な部分だけを切り抜ける「トリミング」セクション。特殊効果を演出する「フィルタ」セクション。文字をおいたり、文字を飾ることができる「文字」セクション。はがきやシールシートなど、お好みの用紙に印刷できる「印刷」セクション。これらの機能は「絵」を完成させるために用意された「7つ道具」です。

道具を使う順番は決まっていません。アルバムから絵を取りだし、いろいろな「道具」を駆使して、世界に一枚しかないあなただけの「絵」を創ってください。



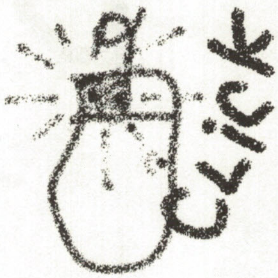
7　道具の使い方を覚えましょう



どんなに使いやすくて優れた道具でも、「使い方」が間違っていては、道具の力が発揮されません。レンチをナットやボルトにただ押し付けても道具の意味はありません。レンチは、ナットやボルトを「回す」という使い方をすることで、はじめて道具として機能するわけです。 この「回す」という操作は、すべての道具に共通しているわけではありません。金づちは、クギを「たたく」操作、栓抜きは栓を「引き抜く」操作、ハサミは「にぎる」操作によってものを切ります。ここでは、それぞれの道具の基本的な操作を解説します。聞きなれない言葉もあるかも知れませんが、単なる呼び方ですから自分なりに操作に名前をつけるなどして、覚えていくとよいでしょう。

クリック：

マウスのボタンをポンッと押して放す操作で、画面上のボタンを押して機能を選択する時に利用します。マウスには普通、右ボタンと左ボタンの2つがあり、クリック動作も右クリックと左クリックの2つがあります。しかし、Daisy コラージュではすべての動作を左クリックで行えるので、この説明書では左クリックのことを単にクリックと表現します。



ドラッグ：



マウスの左ボタンを押し続けながら移動させる操作で、左ボタンを放す（ドロップする）までを差します。領域の選択や、アルバム中の画像移動、選択範囲サイズの変更や移動などに利用します。

ドロップ：

ドラッグした左ボタンを放す動作を差します。



ドラッグ＆ドロップ：

一対のドラッグとドロップの操作を差し、範囲選択や画像の移動などに利用します。たとえば、アルバム中のある画像を、別の場所へ移したい場合、その画像をドラッグして、移したい場所の上でボタンを離せば（ドロップ）、移動出来ます。

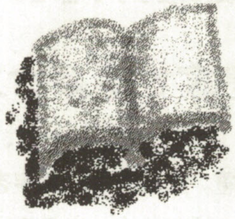


8 Daisyコラージュの特徴



便利なファイリング機能

Daisyコラージュのアルバムは、写真や絵など、'画像'をファイリングする機能を持っています。どのご家庭にもあるアルバムと同じく、カメラでとった写真や描いた絵をアルバムにはったり、不必要な写真を捨てて整理したり。もちろんアルバムの中で写真の入れ替えもするでしょう。これとまったく同じことをするのが、Daisyコラージュの「アルバム」セクションなのです。



整理に役立つメモ機能

また、Daisyコラージュのアルバムでは、画像一つ一つにメモを付けることができます。この機能を使えば、撮影や作画の日付やコメントなどを付けておくことができます。

クリップボードから他のアプリケーションの画面も取り込めます



Windowsの機能を利用して、他のアプリケーションやゲームなどの画面をクリップボードに複写すれば、Daisyコラージュはその画像を読み出すことができます。

簡単な画像合成

下絵とそれに貼り込みたい画像を選択して、簡単に合成することができます。DaisyArtで定評のあったマジックワイヤ機能を搭載し対象物の輪郭も簡単に取り出せます。

合成画像のサイズと位置合わせに苦労の必要はありません

従来のグラフィックスツールで以外にも苦労させられるのが、画像合成時のサイズと位置。Daisyコラージュは、画像表示サイズをダイナミックに変更できる機構を合成に限らず、各セクションに配置。合成位置も簡単に調整できます。

豊富で多彩なフィルタ機能

ぼかしやレリーフ、モザイクなどのDaisyArtで培われたフィルタ技術をそのまま移植。豊富なフィルタをイメージに合わせて選択すればOK。難しい知識や設定は一切いりません。このDaisyコラージュのフィルタと、あなたの想像力が新たな世界を創ります。

便利なトリミング機能

不必要な部分を切り捨てて、必要な部分だけを残す…、あこがれの異性と写っている集合写真を切り抜いたことはありませんか？ Daisyコラージュのトリミング機能を使えば、2ショットも朝飯前です。

文字描画があなたの絵にセリフを付けます

リアクションだけなんてもったいない。セリフを吹き出しで付ければ「迷」シーンの出来上がり。旅先での写真に、ほんの少しのセリフを載せるだけで物語がうまれます。年賀状やクリスマスカードにもご利用いただけるように、文字に特殊効果も付けました。ちょっと気取れるチャンスにあなただけのカードを作成してみませんか？



ガイドラインメッセージがあなたの作業を補助します



各セクションには、操作内容を説明するメッセージが用意されています。作業に息詰まったり、操作方法がわからなくなった時にご覧ください。

9　アルバムに画像を取り込んでみよう



デジタルカメラやスキャナーから画像を取り込む

準備

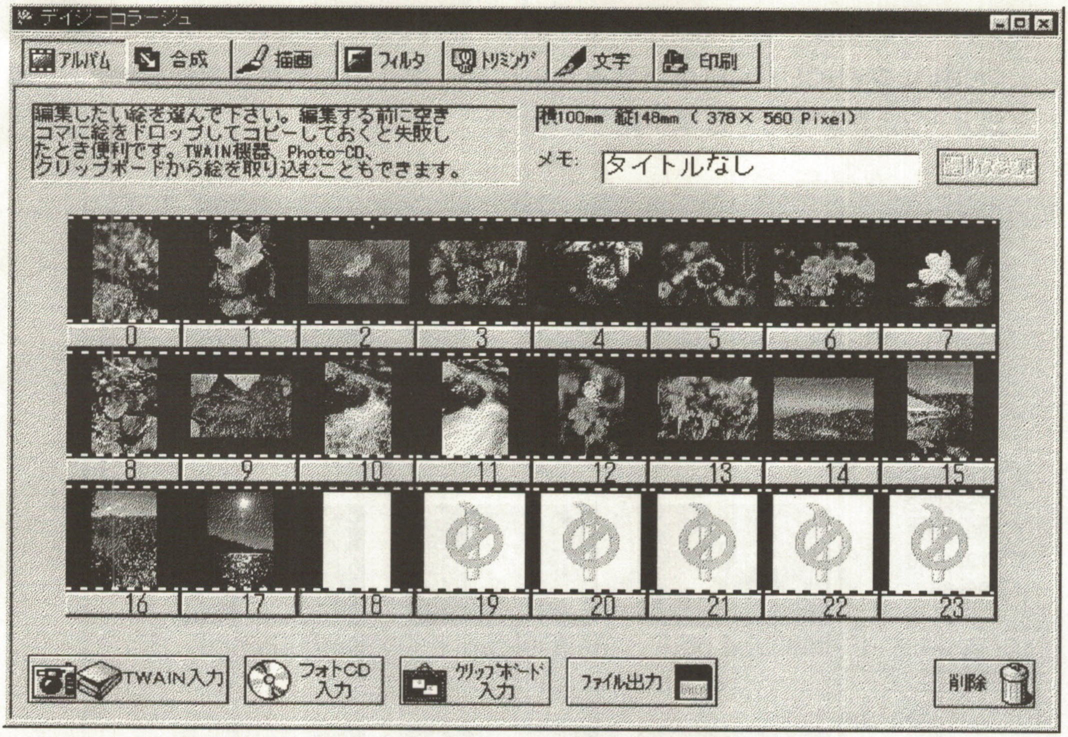
機器がお使いのコンピュータに接続され、電源が投入されていることを確認します。また、お使いのコンピュータに、あらかじめカメラ専用のTWAIN32ドライバがインストールされている必要があります。TWAIN32ドライバのインストール方法は、カメラに付属する取り扱い説明書をご覧ください。Daisyコラージュでは、TWAINを利用することで、様々な機器からの画像を取り込みを実現しています。

操作

1. 「

」ボタンをクリックして、アルバムセクションの画面を出してください。（画面 1）
2. 画面の下にある「

」ボタンをクリックすれば、カメラや、スキャナから画像を読み取ることができます。ここで表示されるダイアログボックス(操作画面)は、メーカまたは機器固有のものですので、操作が不明な場合は、機器の説明書をお読みください。
3. 機器から画像が読み込まれると、アルバムの最後尾に画像が登録されます。複数の画像を同時に読み込ませた場合は、登録された先頭の画像に「編集カーソル」が移動して、操作が完了します。



画面1　アルバムセクション画面

フォトCDから画像を読み込む

お手持ちのネガフィルムやスライドがあったら、近くの写真屋さんでフォトCDを焼いてもらいましょう。最近は比較的小さな写真屋さんでもフォトCDを取り扱うようになりました。フォトCDの画像品位は非常に高く、色むらなどはありませんし、高解像度ですから大切な写真をデジタル化するにはお勧めの手段です。

操作

1. CD－ROMドライブにフォトCDを入れてください。CD－ROMドライブのアクセスランプの点滅が消えるまで数秒ほど待ちます。これは、CD－ROMドライブに挿入されたCDの内容情報(TOC)を読み出し、システムで利用できるようにするための準備時間です。
2. 「アルバム」の「フォトCD 入力」ボタンをクリックすると、ダイアログボックス(図1)が表示されます。

3. フォトCDの画像一覧が表示されますので、読み込みたい画像ファイルを選択してください。フォトCDから画像が読み込まれると、アルバムの最後尾に登録され、編集カーソルが移動して処理が完了します。

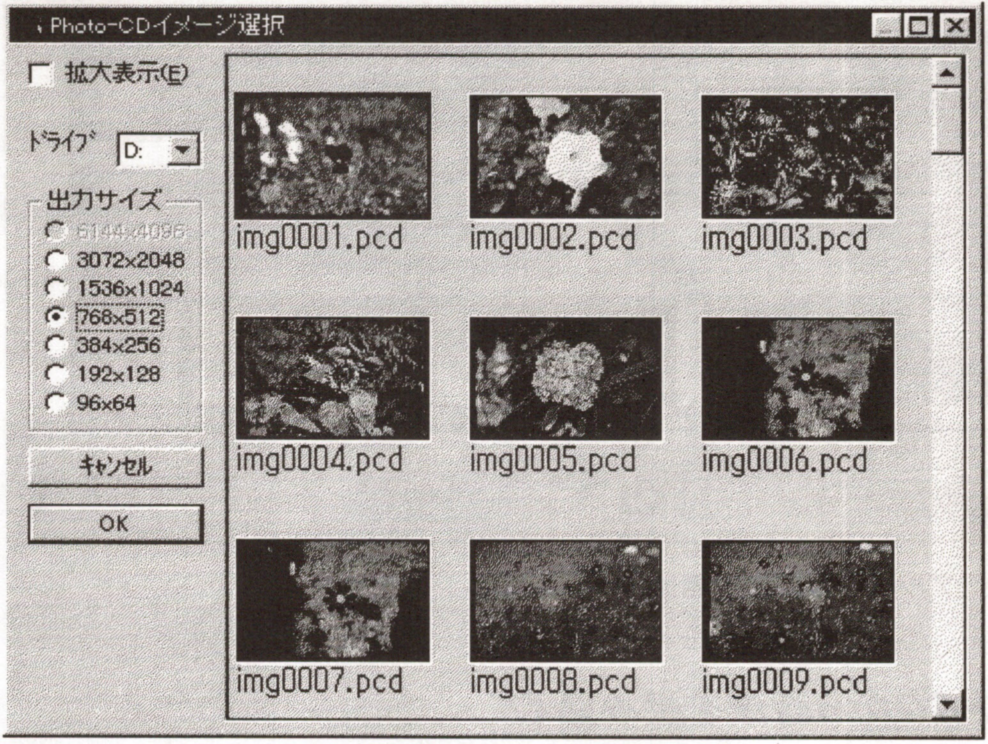
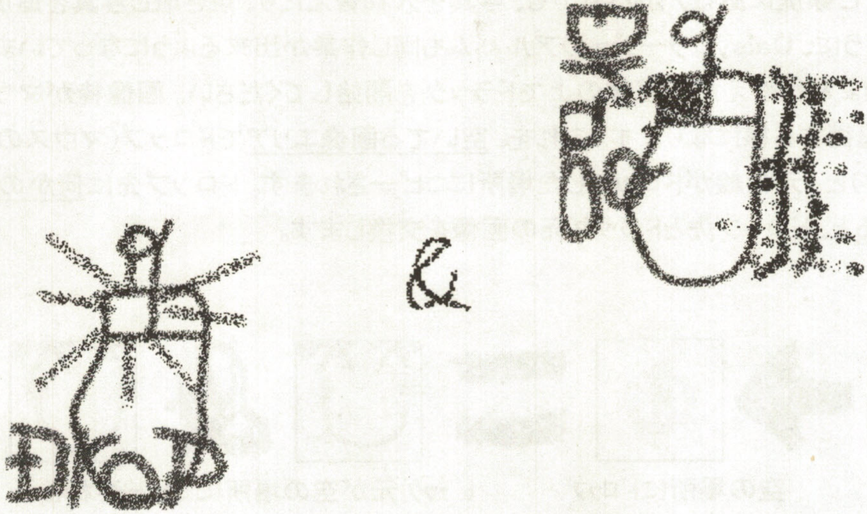


図1 PhotoCDから画像を選択するダイアログボックス

その他の画像ファイルを読み込む

他のアプリケーションで作成した画像をDaisyコラージュで読むには、Windowsのエクスプローラーで読み込むファイルをドラッグし、Daisyコラージュ上でドロップします。Daisyコラージュは、ドロップされた画像ファイルを、アルバムの最後尾に登録し、編集カーソルを登録した最初の画像に移動して、処理が完了します。



※エクスプローラーからドラッグ＆ドロップできるファイルは、BMPファイル形式のみです。

10アルバム中の画像をコピーしてみよう

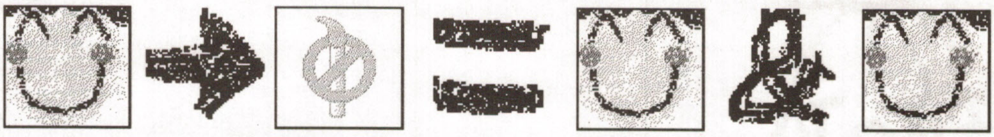


アルバム内でのドラッグ＆ドロップで画像コピーにチャレンジ

画像の登録ができる様になりましたら、画像のコピー(複製)や、入れ替えにチャレンジしましょう。ご家庭にあるアルバムでも、写真を入れ替えたり、焼き増し写真を追加したり出来るように、Daisyコラージュのアルバムも同じ作業が出来るようになっています。

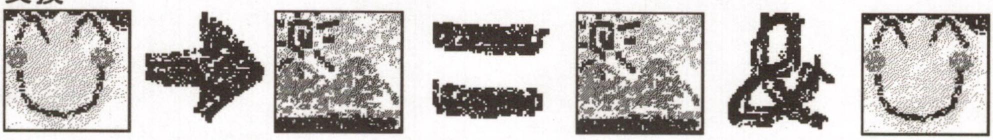
コピー又は入れ替えたい画像の上でドラッグを開始してください。画像枠がマウスカーソルに追従する様になります。これを、空いてる画像エリアでドロップ（マウスの左ボタンを放す）と、元の絵がドロップした場所にコピーされます。ドロップ先に何かの画像が存在すると、ドロップ先とドラッグ元の画像を交換します。

コピー

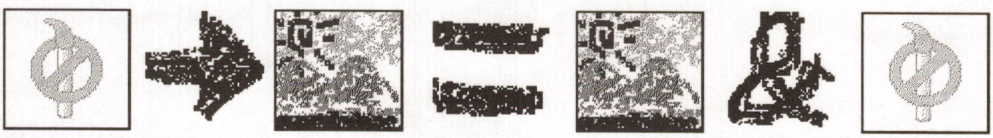


ﾄﾞﾗｯｸﾞ　空の場所にﾄﾞﾛｯﾌﾟ　ﾄﾞﾗｯｸﾞ元が空の場所にコピーされる

交換



ﾄﾞﾗｯｸﾞ　絵のあるところにﾄﾞﾛｯﾌﾟ　ﾄﾞﾗｯｸﾞ元と絵が交換される



空絵をﾄﾞﾗｯｸﾞ　絵のあるところにﾄﾞﾛｯﾌﾟ　ﾄﾞﾗｯｸﾞ元と絵が交換される

11アルバムでの便利な機能を活用しよう



画像にメモを付けよう



Daisyコラージュでは、画像一つ一つに簡単なコメント「メモ」を付けることが出来ます。写真の日付や、撮影した場所など、ちょっとしたメモを付けておくと整理する時にも便利です。

メモを付けたい画像を選び、「メモ」をクリックしてください。カーソルが表示されキーボードからの入力待ちになります。キーボードで入力が完了すると、自動的にメモが画像に付加され、次回からは画像を選択すると自動的に表示されます。

不要な画像は削除ボタンできれいさっぱり

必要のなくなった画像をアルバムから削除したい場合は、対象画像を選択した上で「

」ボタンをクリックしてください。すると確認のために「YES／NO」と表示されますので、YESを選択すると、画像は削除されます。NOが選択されるとキャンセルされ、削除されません。



12画像を合成してみよう

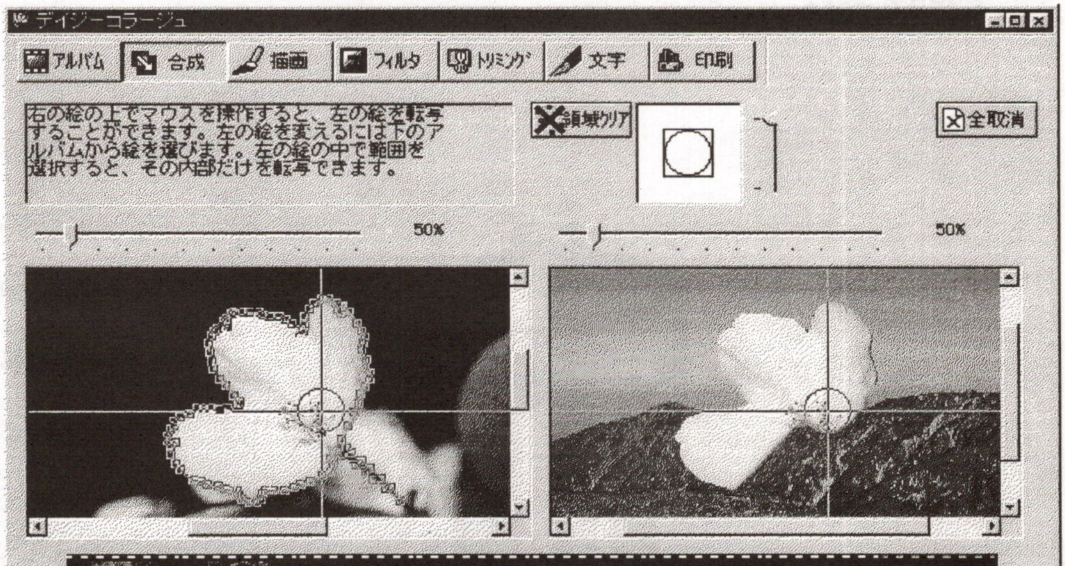


アルバムで指定した画像に好きな画像を貼り込む

Daisyコラージュの画像合成は、ブラシを使って行います。まず、合成の下絵となる画像をアルバムで指定してください。

合成してみましょう

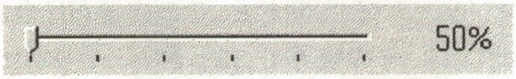
1. 「合成」ボタンを押して合成セクションに移動します。(
2. 画面 2)
3. 先ほどアルバムで選んだ画像は、右の枠に表示されています。左の枠には、合成する絵を入れます。画面の下にある、画像エリアで貼り込みたい画像を選択します。右枠、左枠ともに間違いありませんね？
4. 右枠にマウスカーソルを持っていってクリックしてみてください。左枠の絵が浮き上がりましたね？ この要領で好きな場所の絵を貼り込むことができます。右枠、左枠両方に十字カーソルは、右枠と左枠の双方一致する点を示す役割があります。



画面2　合成セクション画面

大きさを変えて貼り込む

画像合成時の大きさは、元の画像サイズに左右されますか？ いいえ、そんなことはありません。右枠、左枠ともに「拡大率バー」があります。このバーをドラッグして貼り込む絵も、貼られる絵も好きな大きさにすることができます。これで、ランドマークタワーの写真と、赤ちゃんの写真を拡大率を変えて貼り込めば…巨大赤ちゃん怪獣の誕生！となるわけです。

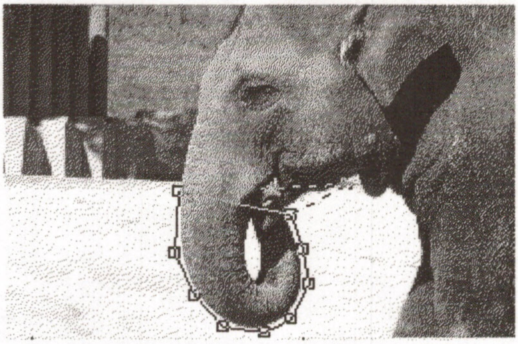


画面の上にある拡大率バーで大きさも変幻自在

13 合成での便利な機能

マジックワイヤで輪郭を囲んでくっきり画像合成

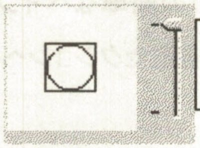
Daisyコラージュには、DaisyArtで定評のある「マジックワイヤ」機能を搭載しています。「合成」セクションの左枠で、切り出したい画像の輪郭の近くでクリックしてみてください。輪郭にそってワイヤリングされましたね？ これがマジックワイヤの機能で、軽く輪郭をなぞるようにクリックすると、自動的に輪郭を抽出して領域選択をしてくれます。合成したい絵（左枠）をマジックワイヤで囲むと、その内部だけ合成をすることができます。つまり、マジックワイヤでは、その境界で、はっきりくっきり切り抜くことができるのです。



マジックワイヤで合成する領域を囲む。

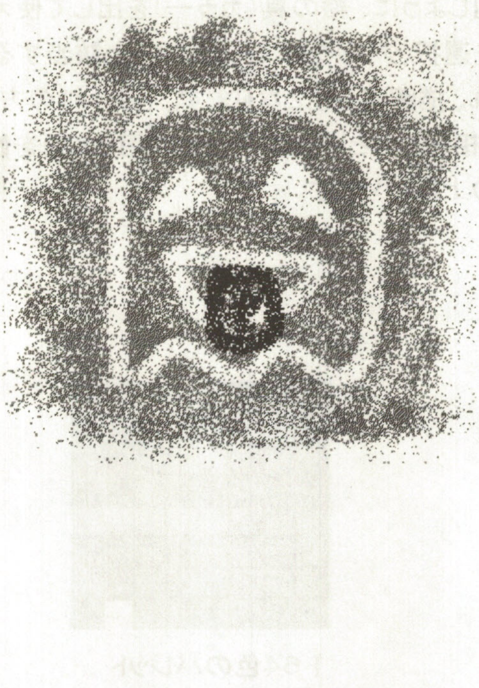
ブラシの濃度を薄くして半透明に浮き出させる

ブラシの濃度を変更すれば、浮き出させる画像の色を薄くすることができます。幽霊を描くときに便利ですね。



←濃度バーで濃度変更

↑ブラシサイズと形はこの丸と四角の枠をドラッグ



14画像に描き込みたい

描画機能は簡単なペイントツール

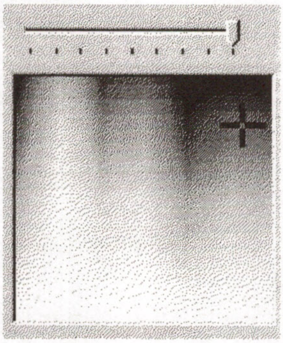
Daisyコラージュには、新たに手書きをしたり、修正をするための簡単なペイントツールが用意されています。「

」ボタンをクリックすれば、描画セクションへ移ります。(画面 3)

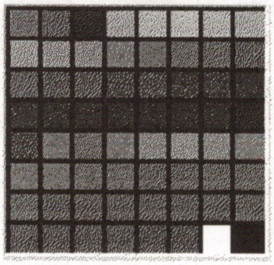
好きな色で塗る

カラー選択の方法を解説します。描画する色、カレントカラーは、2種類の方法で選択することができます。一つは、すでにあるパレット上の色を選択する方法です。パレットとは、画材のパレットと同じように、絵の具(カラー)を出して使えるようにするところです。このパレット上の色を選択(クリック)することにより、該当する場所のカラーが「カレントカラー」として採用され、描画する色となります。もう一つの方法は、好きな色をパレットにのせる方法で、「色相BOX」と「明度バー」を利用して色を作ります。作った色は、選択されているパレットの上にのります。

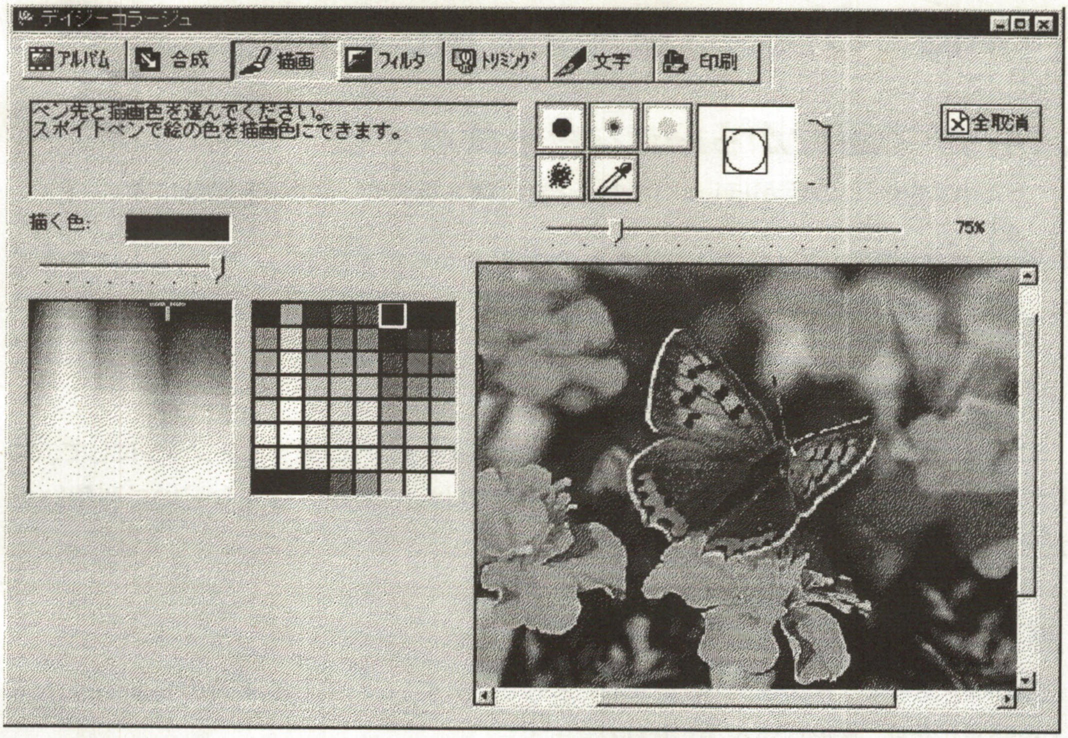
↓明度バー



↑この領域が色相BOX



↑64色のパレット



画面3　描画セクション画面



15 描画での便利な機能を活用しよう

スポイトで画像から好きな色を採取する

てっとりばやく、この色がほしい！というときに使えるのが、スポイト機能です。「」ボタンを押してください。画像上の指定点から色を採取し、パレット上におきます。色を作るのは難しいとお嘆きのあなたに朗報です。

ペンの太さを変えてみる

ペンの太さをかえると、描画のインパクトが変わります。ペン先をエアブラシにして、太くすれば、雪や濃霧のような効果。逆に、細くすれば、こまかい修正などにご利用いただけます。

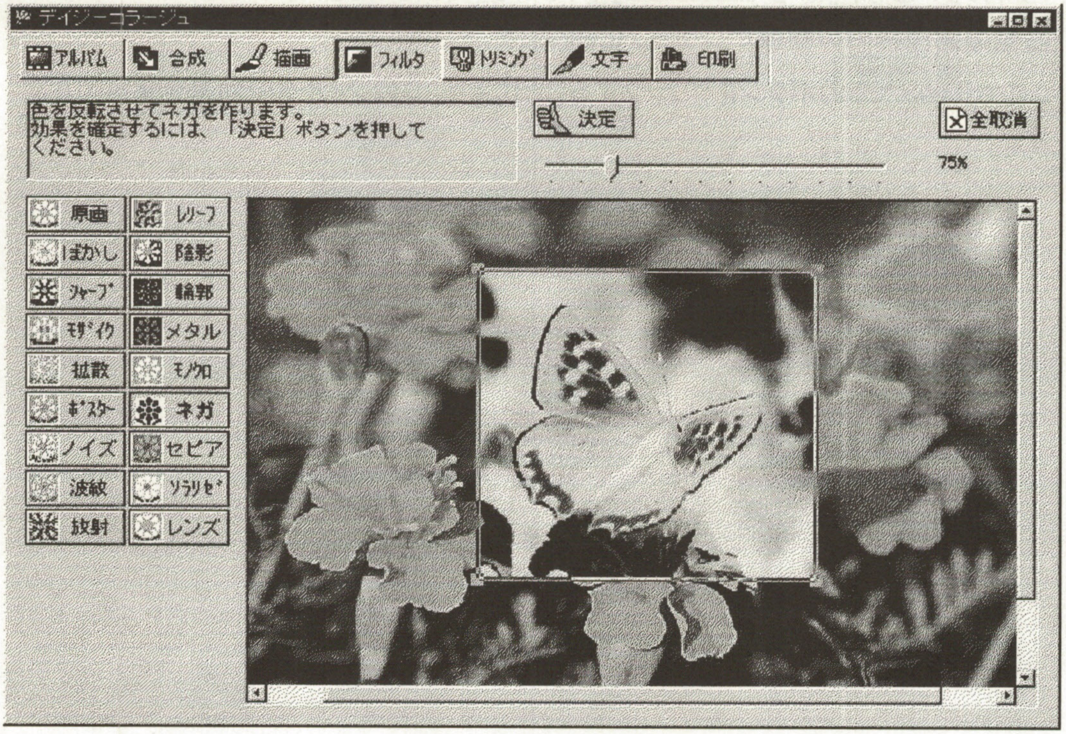
拡大率をあげて、ドット修正

拡大率をあげて、ドット毎に修正することもできます。これで、合成時のちょっとしたミスを修正したり、不正な色を消したりできます。

16画像に特殊効果をつけてみよう

フィルタを利用して、色々な効果をつける

デジタルカメラやコンパクトカメラなどで撮った写真は、撮る段階で光学的なフィルタなどをかけることができないうえに、全自動であるために、どうしても単調な感じになりがちです。そのような写真でも、Daisyコラージュでフィルタをかけることにより、ダイナミックな効果を与える事ができます。
例えば、ピントの甘い写真をクッキリさせる、カラーで撮った写真をあたかも白黒フィルムで撮ったようにモノクロにしてみる、古い写真のようにセピア色にしてみる、わざとぼかしてみるなど、Daisyコラージュのたくさんのフィルタがあなたのお手伝いをします。

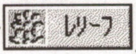


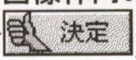
画面4　フィルタセクション画面

レリーフにしてみよう

見た目のインパクトが強いフィルタとして、「レリーフ」があります。それでは実際にこのフィルタを画像全体にかけてみましょう。

1. レリーフ化したい画像を選択して、「

」ボタンを押して、フィルタセクションに移ってください。（画面 4）
2. 画像全体にかけたいので、領域が選択されていないことを確認してください。もし領域が選択されている場合は、右クリックをするか、画像枠外のボタンではないところでクリックするか、画像枠内の選択領域以外でクリックして領域選択をクリアしてください。これで、画像全体に効果がかかります。
3. 「フィルタパレット」から「

」ボタンを選択してください。すると、ウィンドウの右側の画像枠内の画像がレリーフ化されます。
4. ここで「

」ボタンをクリックすることにより、このフィルタの効果を確定できます。

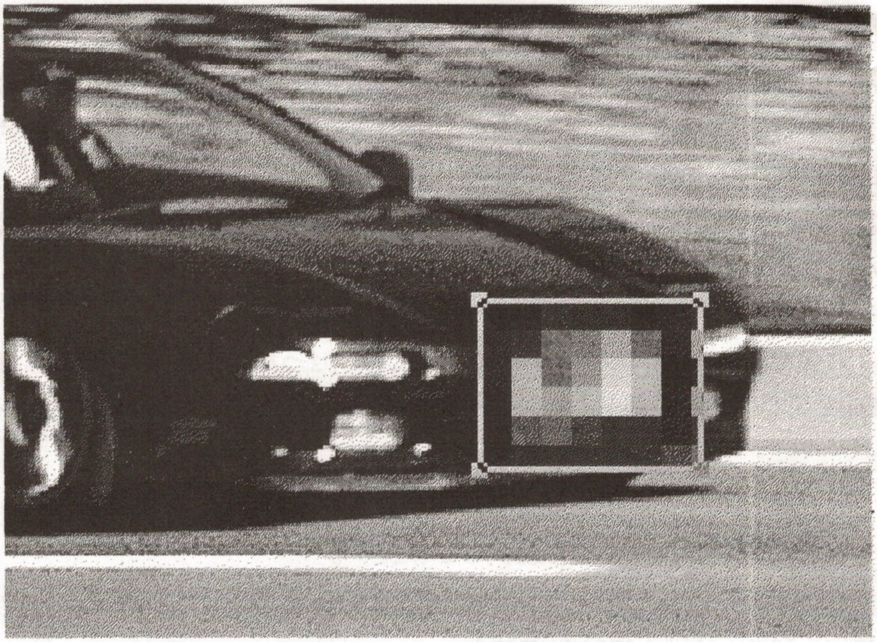
領域を選択すれば、特定の範囲だけにかけられる

Daisyコラージュのフィルタに、モザイクというものがあります。これはご存知のように、かけた部分の詳細を見えないようするものです。このようなフィルタは、全体的にかけるのではなく、見せたくない(見えては困る)部分にのみかけるのが普通です。

例えば、あなたが自慢の車の写真を撮って、ホームページで紹介する場合など、車のナンバーを隠したいと思うかもしれません。そのようなとき、この「モザイク」フィルタが威力を発揮します。

しかし、画像全体にモザイクをかけてしまっては、せっかくの自慢の車の写真がだいなしです。そこで、特定の部分(ナンバープレート)のところのみフィルタをかけることにします。

1. 画像を「アルバム」セクションで選択してください。
2. 「フィルタ」セクションに移り、表示されている画像の上でドラッグし、フィルタをかけたい領域を設定します。領域が選択されているときは、その領域を示す矩形が表示されます。もし、その領域の選択を最初からやり直すときは、右クリックをするか、画像枠外のボタンではないところでクリックするか、画像枠内の選択領域以外でクリックしてください。微調整する場合には、選択領域の枠をドラッグすることで枠の辺を、内部をドラッグすることで枠そのものを移動できます。
3. 次に、かけたいフィルタ(ここでは「モザイク」)を選択します。すると、選択領域内にフィルタがかかり、実際にどのような感じになるかが確認できます。もし、フィルタのかかる範囲が気に入らなければ、再度領域選択をやり直します。
4. これでよいと思ったら、「決定」ボタンをクリックして、確定します。



↑ナンバープレートにだけモザイクを掛けたところ

フィルタの領域選択の移動とプレビューの追従

フィルタセクションで、効果をつけた矩形領域を選択し、それを移動するためにドラッグすると、領域枠だけが動き、フィルタの効果プレビューは枠移動に追従しません。これは、効果領域のリサイズや移動毎にプレビューのためにフィルタリングプロセスが動作することでパフォーマンスが著しく落ちるのを防ぐためです。プレビューを選択枠に再度表示させたい場合は、「原画」ボタンを押した後に、改めて掛けたいフィルタボタンを押してください。

フィルタ効果一覧



ぼかし フィルタ

このフィルタは、画像をぼうっとさせます。この「ぼかし」フィルタを使うと、ピントがずれている状態になりますが、これを利用すれば、背景として合成元にする画像に「ぼかし」をかけると、手前のものが浮き立ち奥行きがでます。



拡散 フィルタ

拡散フィルタは、画像の色をぶわっと散らばらせます。まさに無数の点に拡散したような状態にするフィルタです。



モノクロ フィルタ

モノクロフィルタは、白黒フィルムで撮影した状態にします。白黒の方が絵になることもあります。風景画や、固定物写真等に利用すると粋です。



モザイク フィルタ

モザイクフィルタは、その名の通り「モザイク」をかけます。見られては困る部分や、隠したい対象物などがあるときに便利です。なお、Daisyコラージュには目伏せ用の黒ぬりフィルタはありませんが、描画機能で同等の処理ができます。



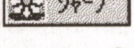
ネガ フィルタ

ネガフィルタは、色を反転(ネガティブ)します。ちょうど、使い捨てカメラの中にある「ネガフィルム」に近い効果を与えます。



レリーフ フィルタ

レリーフフィルタは、銀盤で出来た「レリーフ」（彫り物）のような画像にします。彫刻の心得がなくても、このフィルタを使えば「レリーフ」の画像が作れます。



シャープ フィルタ

シャープフィルタは、ぼうっとした輪郭をカチッとさせる時に利用します。角（エッジ）が立つ絵になりますので、背景から対象物をはっきり浮き上がらせたい時などに有効です。



放射 フィルタ

放射フィルタは、画面の中央から端にむかって放射状に特殊効果を与えます。さあ、準備は整いましたか？ ワープ開始です！



波紋 フィルタ

波紋フィルタは、水面に石などが落ちた時の波紋状に画像を歪めます。薄く絵を浮き上がらせて波紋フィルタをかければ、まるで水に写した絵の様です。



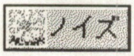
レンズ フィルタ

レンズフィルタは、虫めがねを画像の上においたような感じにします。中央部が一番拡大され、端にゆくほど拡大率が少なくなります。UFOの写真を撮ったら、このフィルタで大きくして注目をあつめましょう。



メタル フィルタ

メタルフィルタは、画像の中のすべてが金属で作られたような感じにします。この際、あなたの銅像写真をつくって自慢しましょう。



ノイズ フィルタ

ノイズフィルタは、電波状態の悪いTVで画像を見てるような感じにします。衛生中継っぽい画像にはこれでOKです。



ポスター フィルタ

ポスターフィルタは、画像に使われている色数を減らし、ポスターのようにします。じつは、ポスターというよりも、アニメチックにという方が伝わりやすいかもしれません。



輪郭 フィルタ

輪郭フィルタは、画像の輪郭線を抽出します。お好きなキャラクタを取り込んで、輪郭だけ取り出せば、あっという間に、塗り絵ができあがり。



セピア フィルタ

あんな思い出、こんな思い出。素敵な思い出は、いつまでもずっと、鮮やかに残っているものです。でも素敵なものばかりじゃない…とそんなとき、早く「思い出」にしたいなと思ったら、セピアフィルタで古写真にしちゃいましょう。



ソラリゼーション フィルタ

写真の世界では一般的な「ソラリゼーション」のシミュレートです。ソラリゼーションは、現像中のフィルムに光を当て、特殊効果を作り出します。

17画像の必要な部分だけ切り出そう

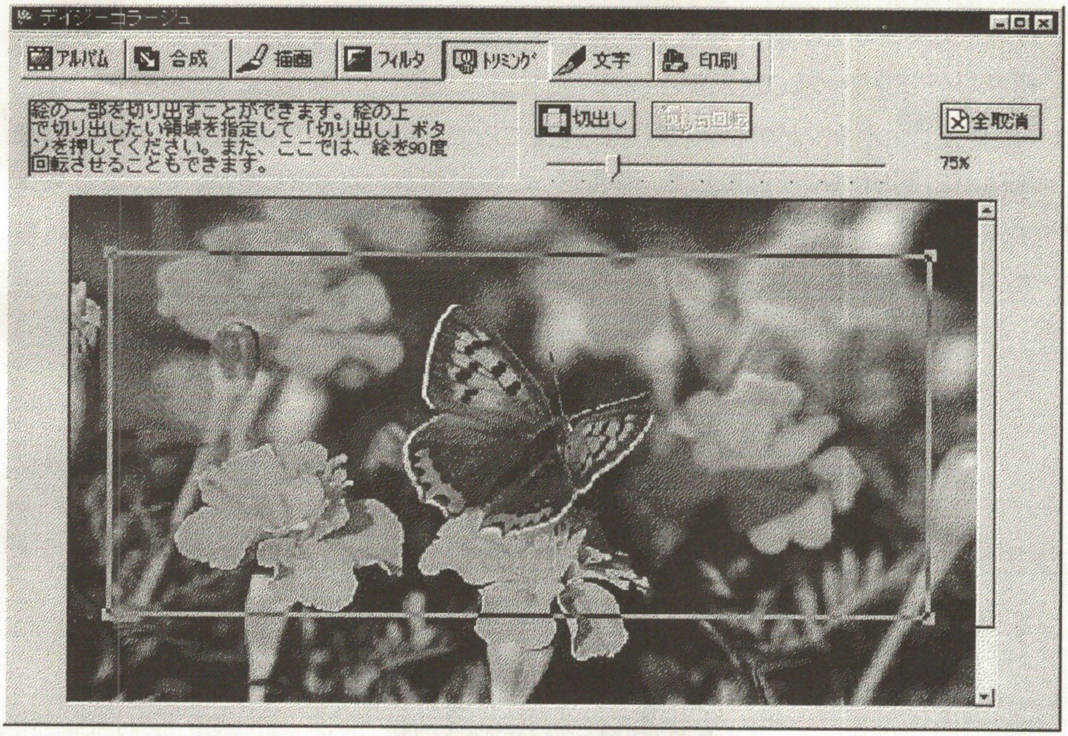


トリミングで必要な部分だけ切り出そう

普通、カメラで写真を撮る場合、被写体が切れてしまわないように、周囲に余裕を取りますね。しかし、そのような写真をコンピュータに入力してみると、周囲の不要な部分があまりにも大きくて、写したいものがよくわからないことがあります。また、みんなで撮った集合写真や風景写真のうち、一部分だけ欲しいということはよくあります。このようなときに、必要な部分だけ切り抜くことを「トリミング」と呼びます。 Daisyコラージュにもこの機能があります。

実際に切り出そう

1. 切り出したい画像を選んだら、「トリミング」ボタンをクリックしてトリミングセクションに移ります。(画面 5)
2. 表示されている画像の上でドラッグし、切り出したい領域を設定します。
3. 領域が選択されているときは、その領域を示す四角形の枠が表示されます。もし、その領域の選択を最初からやり直すときは、右クリックをするか、画像枠外のボタン以外の場所でクリックするか、画像枠内の選択領域以外でクリックしてください。微調整する場合には、選択領域の枠をドラッグすることで枠の各辺を、内部をドラッグすることで枠そのものを移動できます。
4. 選択領域が設定されていると、「切出し」ボタンがアクティブ(クリックできる状態)になります。もし、現在の選択領域を切り出したいのであれば、「切出し」ボタンをクリックしてください。選択領域以外の部分が消去され、トリミングは終了します。



画面5　トリミングセクション画面

18トリミングの便利な機能を活用しよう



回転ボタンで縦横変換

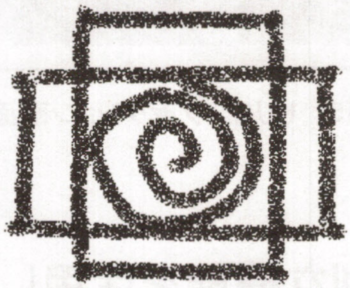
カメラで撮影するときに、カメラを90度回して撮影したり、原稿のサイズが大きくてスキャナなどで画像を入力する時に、原稿の向きを変えられないなど、入力した画像の向きが違うという場合がよくあると思います。このような場合を考えて、Daisyコラージュには画像を90度づつ回転させる機能がついています。

それでは回転してみよう

1. 回転させたい画像を選んだら、「トリミング」ボタンをクリックしてトリミングセクションに移ります。
2. 画面の下に「90 右回転」ボタンがありますね？もし、ボタンがアクティブ(クリックできる状態)になっていない場合、選択領域が設定されているので、選択領域を解除しな

ければなりません。選択領域を解除するには、右クリックするか、画像枠内の選択領域以外でクリックしてください。

3. 「90°右回転」ボタンがアクティブになったところで、ボタンをクリックしてください。画像全体が右回りに90度回転して、横長だった絵が縦長になりましたね。もし、これで上下が逆になっている場合、「90°右回転」ボタンを2回押すことにより、上下を元に戻すことができます。



19画像に文字を書き込んでみよう



年賀状の挨拶を書こう

年賀状といえば欠かせないのが、年度と挨拶ですね。それでは、写真に年度と挨拶を書き込んでみましょう。前に紹介した「描画機能」を使ってもよいのですが、年賀状ということで、ちょっと改まって、きちんとした文字を書いてみたいですね。このような時に活躍するのが、「文字機能」です。

文字を書いてみましょう

1. 「文字」ボタンをクリックして、文字セクションに移ってください。（画面 6）
2. まず、「カラーBOX」で文字の色を選びましょう。そして、「フォント名」リストボタンをクリックして、リストから使用するフォントを選択します。
3. 「文字入力BOX」をクリックし、キーボードから書き込みたい文字列を入力します。とりあえず、「1997年　元旦」と入力しましょう。漢字の入力はお使いのマシンにインストールされている「かな漢字変換機能」に依存しますので、入力方法が分からない場合には、そちらのマニュアルを参照してください。
4. 右側の「画像枠」の中に、現在入力している文字がどの位置にどのくらいの大きさで書き込まれるかを示す四角形の枠が表示されています。この枠のことを「未確定文字列枠」と呼びます。
5. 文字の大きさを変えたい場合には、「大きさ」リストボタンをクリックして、リストから文字の大きさを選択するか、「大きさ」BOXに直接数値で入力します。
6. 文字の書き込まれる位置を変えたい場合には「画像枠」の中の「未確定文字列枠」をドラッグしてください。
7. 書き込む文字の位置が決まったら「決定」ボタンをクリックしましょう。文字が書き込まれます。

斜体やBoldで一味違う文字を

書き込む文字を*斜体*にしたり **Bold**(強調)にすることもできます。ちょっと文字を目立たせたいときなどに使うと効果的です。

やり方は簡単です。「決定」ボタンを押す前に「斜体」「ボールド」ボタンをおして、つけたい効果ボタンを有効にしておきます。それ以外の操作は今までと同じです。



画面6　文字セクション画面

20文字の便利な機能を活用しよう

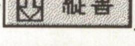


効果をつけてアクセントのある文字に！

文字の飾りが斜体とBoldだけでは物足りないと思いませんか？ Daisyコラージュではそれ以外にも文字飾りを用意しています。その1つの方法として、「効果」があります。ウィンドウの左側の「効果」のリストボタンをクリックしてみてください。効果のリストが現れたでしょう？この中から効果を選んで文字にアクセントをつけることもできます。

傾きとフォント名の選択で縦書き文章を

文字は横書きだけでなく、縦書きにすることもできます。

まず、ウィンドウの左側の「

」ボタンをクリックし、縦書きモードにします。こうすると、文字は、上から下へ描画されるようになります。

次に「フォント名」リストボタンをクリックし、表示されたフォントの中から、最初に「@」がついたフォントを選択します。「@MSゴシック」や「@MS明朝」などがそれです。通常は、縦書きモードにした時点で縦書き「@」フォントを自動選択します。

あとは、文字を入力し、「

」ボタンを押せばOKです。

日本語フォントと、その他のフォント

「ひらがな」や「カタカナ」または「漢字」などの文字は、日本語専用のフォント「MSゴシック」や「MS明朝」等以外では、表示されないものがあります。英語フォントでは、日本の文字コード番号に対応するフォントが存在しないため、四角マーク「口」に置き換わって表示されます。また、一部の機種専用文字や外字なども同様に専用のもの以外では表示することはできません。

21 印刷しよう

印刷をして自慢しよう

それではあなたの自慢の作品（？）を、さらに多くの人に見せるために印刷してみましょう。

準備

プリンタがお使いのコンピュータに接続され、電源が投入されていることを確認します。また、お使いのコンピュータに、あらかじめプリンタ用のドライバがインストールされている必要があります。プリンタドライバのインストール方法は、プリンタの説明書をご覧ください。

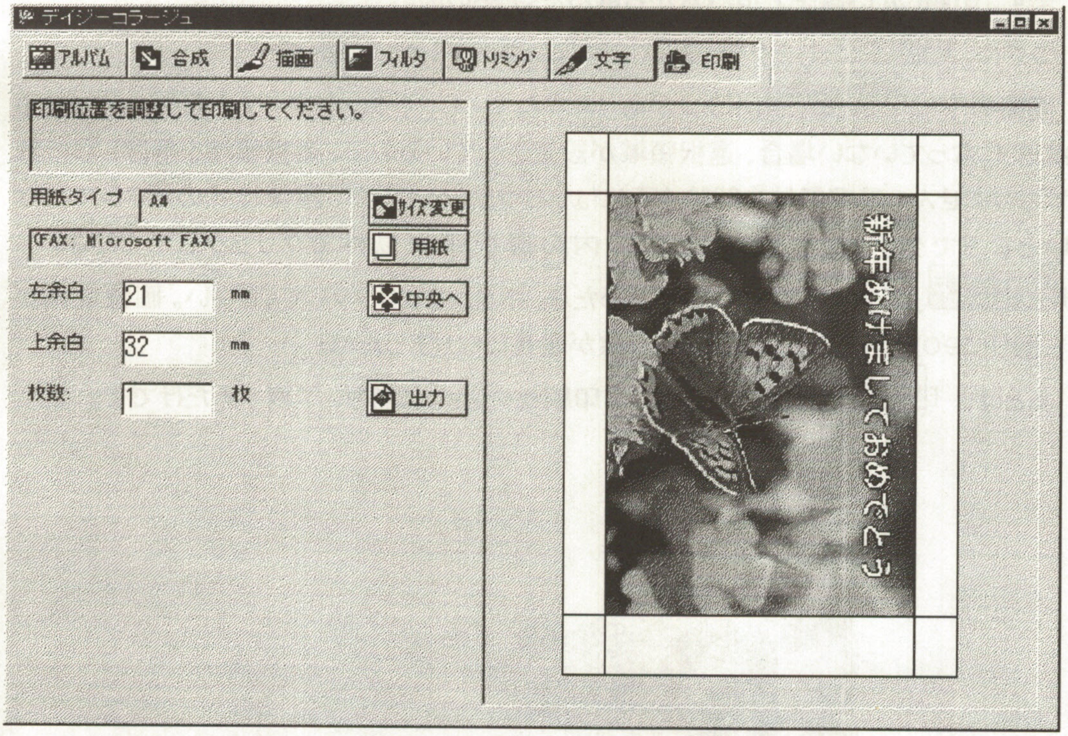
また、複数のプリンタが接続されている場合は、 Daisyコラージュで印刷したいプリンタを「通常使うプリンタ」に設定しておいてください。

操作

1. 画面の上部にある「印刷」ボタンを押して印刷セクションに移ります。（画面7）
2. まず、印刷する用紙のサイズを決定します。ウィンドウの左側にある「用紙」ボタンをクリックすると、プリンターダイアログ(操作画面)が表示されますので、用紙を選択してください。この「プリンターダイアログ」はメーカまたはプリンタ固有のものです。操作がわからない場合は、プリンタの説明書をお読みください。
3. 次に余白を設定します。余白を設定することは、紙のどの部分に印刷するかということにもなります。設定は、「印字イメージ」内の４本の直線のうち、上と左の線（それぞれ上余白線、左余白線と呼びます）の値を設定することで、印字位置を設定することができます。「上余白」「左余白」のBOXに直接数値を入力すると、それぞれの設定を行うことができます。なお、プリンタには余白以外にそれぞれ印字ができない領域があり、余白の設定はそれ以上の値が必要です。
4. 「サイズ変更」ボタンで、用紙にあわせて印字するサイズを拡大または、縮小することができます。
5. 最後に印刷する枚数を決定します。枚数表示のBOXをクリックすると、キーボードから数値が入力できますので、印刷する枚数を設定してください。

6. さあ、いよいよ印刷です。「

」ボタンを押すと、「OK／キャンセル」ダイアログが表示されるので、よければ「OK」ボタンをクリックしてください。しばらくすると、プリンタから印刷された絵が出てきます。



画面7　印刷セクション画面

22 印刷の便利な機能を活用しよう

横長の画像を縦用紙いっぱいに印刷するには

まず、印刷したい絵をアルバムから選んでください。

つぎに、「トリミング」をクリックして、トリミングセクションに移ります。

画面の下に「90 右回転」ボタンがありますね？もし、ボタンがアクティブ(クリックできる状態)になっていない場合、選択領域が設定されているので、選択領域を解除しなければなりません。選択領域を解除するには、右クリックするか、画像枠外のボタンではないところでクリックするか、画像枠内の選択領域以外でクリックしてください。「90 右回転」ボタンがアクティブになったら、ボタンをクリックしてください。画像全体が右回りに90度回転して、横長だった絵が縦長になりましたね。

あとは、「印刷」ボタンを押して印刷セクションに移り、印刷するだけです。



23 間違えたと思ったら…

全取消しボタンで作業をやり直す

合成、描画、フィルタ、トリミング、文字の5つの各セクションには、作業を最初からやり直す「全取消」ボタンが用意されています。このボタンを押すと、「YES／NO」ダイアログが表示され、YES選択時にはそのセクションに入った最初の状態に戻します。この「全取消」ボタンを間違った作業を取消すだけでなく、試行錯誤のお供としてご利用ください。



間違えても、「叫ぶ」必要はありません。

24画像を他のプログラムで利用するには…



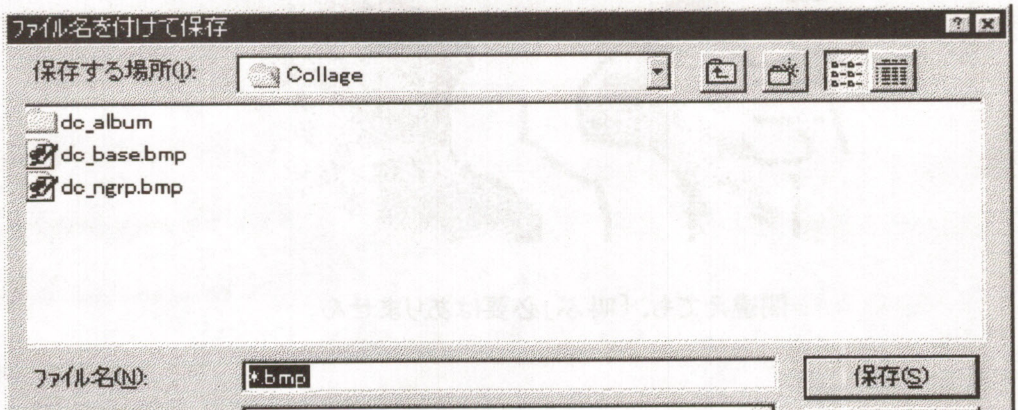
せっかく作った絵を他のアプリケーションでも利用したいものです。ペイントソフトで色を換えたりワードプロセッサに絵を貼り付けたり。他の人と画像データの交換もする機会や、壁紙として使いたい場面もあるでしょう。この様な場合に利用するのが、「ファイル出力」機能です。

フルカラーBMPファイルを出力する

1. 「

」ボタンをクリックして、アルバムセクションの画面を出してください。
2. 画面の下にある「

」ボタンをクリックするとファイル名やフォルダを指定するダイアログが表示されますので、お好きなフォルダとファイル名を指定または、入力して下さい。
3. 「保存（S）」ボタンを押すと指定した名前で“フルカラーBMP形式”のファイルが作成されます。



ファイル出力ダイアログ

25セクション別　機能一覧表

「アルバム」セクション

・「TWAIN入力」ボタンでカメラ、スキャナから画像を読み込んでアルバムに登録する

・「フォトCD入力」ボタンでフォトCDから画像を読み込んでアルバムに登録する

・「クリップボード入力」ボタンでクリップボード上の画像を読み込んでアルバムに登録する

・ドラッグ＆ドロップでアルバム内の任意2画像の場所を入れ替える

・ドラッグ＆ドロップで画像を空いてる場所にコピーする

・「ファイル出力」ボタンで画像をフルカラーBMPファイルとして保存する

・「削除」ボタンでアルバムから画像を削除する

・「サイズ変更」ボタンで新規画像のサイズを変更する

・外部の画像ファイルをエクスプローラーでアルバムにドラッグ＆ドロップで登録する

「合成」セクション

・「領域クリア」ボタンで領域選択をクリアする

・「ブラシサイズ」をドラッグして大きさと形を設定

・「濃度」バーでブラシによる合成濃度を変更

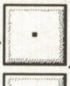
・「拡大率」の変更

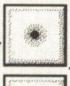
・ブラシで下絵に画像を合成

・合成したい画像を選択する

・「全取消」ボタンで、このセクションの最初の状態に画像を戻す

「描画」セクション

・「」ボタンでペンを「ノーマルペン」に設定

・「」ボタンでペンを「シェードペン」に設定

・「」ボタンでペンを「水彩ペン」に設定

・「」ボタンでペンを「エラブラシ」に設定

・「」ボタンで画像上の色をスポイトで採取

・「ペン先」の太さ調節

・「カラーパレット」でカレントカラーを選択する

・「明度バー」でカレントカラーの明度を設定する

・「色相BOX」でカレントカラーの色相を設定する

・「拡大率」で拡大率の変更

・選択したペン先で画像に描き込み

・「」ボタンで、このセクションの最初の状態に画像を戻す

「フィルタ」セクション

・フィルタリングする領域を選択する

・選択領域をドラッグで移動する

・選択領域のサイズをドラッグで変更する

・「拡大率」で拡大率を変更する

・各種「フィルタボタン」でフィルタを選びプレビューを見る

・「」ボタンでプレビューしているフィルタが画像に反映する

・「」ボタンで、このセクションの最初の状態に画像を戻す

「トリミング」セクション

・トリミングする領域を選択する

・選択領域をドラッグで移動する

・選択領域のサイズをドラッグで変更する

・「拡大率ボタン」で拡大率を変更する

・「」ボタンでトリミング枠外の画像を消す

・「」ボタンで画像全体を時計回りに90度回転させる

・領域選択されている場合に、領域外を左クリックすることで、領域枠を消す

・「」ボタンで、このセクションの最初の状態に画像を戻す

「文字」セクション

・文字列の入力

・「効果」リストボックスで文字の効果を選択

・「フォント名」リストボックスでフォントの変更

・「大きさ」で、フォントサイズ変更

・「縦書」ボタンで、文字の描画方向を縦にする

・「横書」ボタンで、文字の描画方向を横にする

・「斜体」ボタンで、フォントをイタリックにする

・「ボールド」ボタンでフォントを太字にする

・「決定」ボタンで未確定文字列の描画

・「色相BOX」でカレントカラーの色相を設定する

・「明度バー」でカレントカラーの明度を設定する

・「拡大率」で画像の拡大率を設定する

・未確定文字列枠をドラッグして描画位置を移動する

・「全取消」ボタンで、このセクションの最初の状態に画像を戻す

「印刷」セクション

・上余白の設定

・左余白の設定

・印刷枚数の設定

・「用紙」ボタンでプリンタのプロパティダイアログを呼んで用紙サイズの変更

・「中央へ」ボタンで画像を用紙の中央へセンタリング

・「サイズ変更」ボタンで印刷サイズ変更

・「出力」ボタンを押して画像の印刷開始

26ユーザーサポートについて

製品購入後ユーザー登録ハガキに必要事項を記入し、50円切手を貼ってご返送してください。ユーザー登録ハガキのご返送により、お客様は正規ユーザとして登録され、サポートを受けられるようになります。原則として、未登録のお客様はサポートを受けられません。登録ユーザには以下のようなサポートを受けることができます。

製品についてのお問い合わせ

ソフトウェアの使用方法など、不明な点を問い合わせることができます。なお、Windowsの使い方や、拡張ボードなど弊社製品に直接関係のないお問い合わせにはお答えできません。他社製品についてのお問い合わせは各社のサポートへお問い合わせ願います。

また、弊社で動作保証している機器以外の組み合わせでの不具合については、サポート致しかねます。

お問い合わせの方法

1. 手紙によるお問い合わせ

返送の宛先、シリアル番号、質問事項、ご利用機器の構成などをできるだけ詳しく記入して、以下へ郵送ください。

〒261－01　千葉市美浜区中瀬1－3－CD5 幕張テクノガーデンビル5F
株式会社 市川ソフトラボラトリー「Daisyコラージュ ユーザーサポート係」

2. FAXによるお問い合わせ

返送FAX番号、シリアル番号、質問事項、ご利用機器の構成などをできるだけ詳しく記入して、以下へFAXしてください。

FAX 043(296)8079「Daisyコラージュ ユーザーサポート係」

Daisyコラージュ ユーザーズマニュアル

1996年10月1日 第一版

Daisyコラージュ 開発・著作

株式会社 市川ソフトラボラトリー

〒261－01 千葉市美浜区中瀬1－3 幕張テクノガーデンビルCd－5

Tel. 043(296)1462　　Fax. 043(296)8079

Printed in Japan 96.11